

令和 6 年度会務報告

全国都道府県議会議長会

会 議 及 び 運 動 等

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
1	令和 6 . 4 . 23	各都道府県議会議長、令和 6 年春の園遊会に出席 東京・赤坂御苑において、天皇皇后両陛下主催により催され、本会からは、議長 6 名が出席した。 なお、園遊会には、岸田文雄内閣総理大臣、地方公共団体代表、各界の功績者など約1,400名が出席した。
2	6 . 5 . 21	伊藤社会文教委員会副委員長、令和 6 年度全国自治体病院開設者協議会定時総会に出席 東京・都市センターホテルにおいて開催され、伊藤昌弘社会文教委員会副委員長（千葉県議会議長）が出席し、三議長会を代表して祝辞を述べた。
3	6 . 5 . 29	山本会長、「国と地方の協議の場（令和 6 年度第 1 回）」に出席 東京・総理大臣官邸において開催され、本会からは山本徹会長（富山県議会議長）が出席した。 会議においては、「骨太方針の策定等」について、関係閣僚と協議した。 <発言内容> ①令和 7 年度以降の地方一般財源総額の充実確保を要請 ・ こども・子育て政策の強化や防災・減災対策等の財政需要を踏まえた令和 7 年度以降の地方一般財源総額の確保・充実を要請 ②人口減少対策とデジタル化 ・ 財政力によってこども・子育て支援施策に地域間格差が生じないように、国が一律で行うべき支援策を国の責任と財源により実施を要請 ・ デジタル基盤の整備やデジタル人材の育成・確保、デジタル田園都市国家構想交付金の安定的な予算枠の確保・拡充を要請 ③経済の好循環の地方への波及

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		・総理から発言のあった約30年ぶりの経済の盛り上がり、地方が感じられるようにすることが地方創生のカギ <政府出席者> 岸田 文雄 内閣総理大臣 林 芳正 内閣官房長官 松本 剛明 総務大臣 自見 はなこ 内閣府特命担当大臣（地方創生） 矢倉 克夫 財務副大臣 河野 太郎 デジタル大臣・デジタル行財政改革担当大臣・デジタル田園都市国家構想担当大臣 加藤 鮎子 内閣府特命担当大臣（こども政策 少子化対策 若者活躍 男女共同参画） 松村 祥史 国土強靱化担当大臣 新藤 義孝 内閣府特命担当大臣（経済財政政策）
4	6. 6. 5	山本会長、自由民主党総務部会等合同会議に出席 東京・自由民主党本部において、自由民主党総務部会・地方行政調査会・地方議会の課題に関するプロジェクトチーム合同会議が開催され、本会からは山本徹会長（富山県議会議長）が出席した。 合同会議は、令和5年4月に成立した地方議会の役割及び議員の職務等を明確化することなどを内容とする地方自治法改正後の地方議会の取組について、三議長会からヒアリングを行うため開催された。 山本会長からは、三議長会で国民運動として取り組んでいる主権者教育の推進、女性や若手の正副議長などをメンバーとする本会の「多様な人材が輝く議会のための懇談会」が令和6年3月に取りまとめた「17の提言」について説明した。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		また、合同会議終了後、自由民主党の森山裕総務会長、翌6日、渡海紀三朗政務調査会長に、合同会議を開催していただいたことについて御礼を述べるとともに、地方議会の課題について意見交換した。
5	6.6.13	山本会長、地方創生に関する地方六団体との意見交換会に出席 東京・中央合同庁舎4号館において開催され、本会からは山本徹会長（富山県議会議長）が出席した。 会合においては、内閣官房から「地方創生10年の取組と今後の推進方向」等について説明の後、意見交換が行われた。 山本会長からは、①地域間格差是正の観点を踏まえた人口減少対策、②デジタル基盤の整備やデジタル人材の育成・確保等について要請するとともに、本会における今後の地方創生に関する取組について協力を要請した。 自見はなこ内閣府特命担当大臣（地方創生）からは、①「こども・子育て支援加速化プラン」に基づく結婚やこどもを持ちたいという希望をかなえるための全国における政策、②社会全体で子育てを支える機運の醸成、③令和6年度末で適用期限を迎える企業版ふるさと納税の延長、④デジタル田園都市国家構想交付金の予算確保等に取り組む旨の回答があった。 <政府出席者> 自見 はなこ 内閣府特命担当大臣（地方創生）
6	6.6.23	山本会長、令和6年沖縄全戦没者追悼式に参列 沖縄・平和祈念公園において、沖縄県及び沖縄県議会主催により執り行われ、本会からは、山本徹会長（富山県議会議長）が参列し、献花を行った。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		追悼式には、戦没者遺族、玉城デニー沖縄県知事、赤嶺昇沖縄県議会議長をはじめとする県及び県議会関係者のほか、岸田文雄内閣総理大臣、衆参両院の議長など約4,500名が参列した。
7	6.6.28	三議長会、「地方議会が進める主権者教育事例集」を発行 三議長会は、「地方議会が進める主権者教育事例集」を発行した。 三議長会では、令和5年4月の地方議会の役割及び議員の職務等を明確化する地方自治法の改正を踏まえ、議会への関心・理解を高め、多様な人材の参画を促すために、主権者教育を国民運動として進めており、主権者教育事例集は、こうした三議長会の取組の1つとして取りまとめたもの。本書には23事例（都道府県の10事例、市の8事例、町村の5事例）を掲載している。
8	6.7.5	第1回主権者教育リーフレット有識者会議 東京・都道府県会館において、対面出席とオンライン出席を併用するハイブリッド方式で開催した。 三議長会では令和6年度中に、各議会が実施する主権者教育事業に際して配布することを主な目的とした、主権者教育リーフレットの発行を予定しており、本会議はリーフレットの内容等について有識者から御意見を頂くことを目的に開催された。 開会冒頭、本会の山本徹会長（富山県議会議長）があいさつを述べ、その後は4名の有識者から御意見を頂くとともに、全体での意見交換を行った。 <出席者> 有識者（五十音順） 井柳 美紀 静岡大学人文社会科学部教授 河村 和徳 東北大学大学院情報科学研究科准教授 樋口 雅夫 玉川大学教育学部教授

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		渡辺 嘉久 読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局 本会 山本 徹 会長（富山県議会議長）
9	6. 7. 16	各委員会 東京・都道府県会館において、対面出席とオンライン出席を併用するハイブリット方式で開催し、関係府省から説明を聴くとともに、「令和7年度政府予算編成及び施策に関する提言（案）」を審査した。 地方自治委員会 ＜説明内容＞ 地方財政の課題について ＜説明者＞ 大沢 博 総務省自治財政局長 ＜提言案項目＞ 「地方創生の推進について」等15項目 社会文教委員会 ＜説明内容＞ 「こども未来戦略」に基づく施策の推進について ＜説明者＞ 高橋 宏治 こども家庭庁長官官房審議官（総合政策等担当） ＜提言案項目＞ 「少子化対策・子育て支援の抜本的強化について」等8項目

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		経済産業環境委員会 ＜説明内容＞ 災害廃棄物対策について ＜説明者＞ 高橋 亮介 環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課課長補佐 ＜提言案項目＞ 「地域経済の持続的な成長の実現について」等5項目 国土交通委員会 ＜説明内容＞ 国土強靱化の取組の推進について ＜説明者＞ 丹羽 克彦 内閣官房国土強靱化推進室次長 ＜提言案項目＞ 「防災・減災対策、国土強靱化の充実強化について」等7項目 農林水産委員会 ＜説明内容＞ 農産物・食品の合理的な価格形成実現に向けた取組について ＜説明者＞ 宮浦 浩司 農林水産省大臣官房総括審議官（新事業・食品産業） ＜提言案項目＞ 「食料安全保障の強化について」等5項目

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
10	6. 7. 16	役員会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。会議では、7月24日に開催する第178回定例総会に提出する決議（案）を決定したほか、定例総会の日程を確認した。 また、令和5年度会計監査報告を、三宅浩正監事（愛媛県議会議長）が監事を代表し行った。 その後、「多様な人材が輝く議会のための17の提言」事項の推進、主権者教育の推進、投票率の向上に向けた課題に関する調査研究、標準傍聴規則の改正の検討、地方創生に関する今後の取組について、事務局から報告した。
11	6. 7. 24	第178回定例総会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。総会では、山本徹会長（富山県議会議長）のあいさつに続き、来賓の馬場成志総務副大臣があいさつを行い、事務局が岸田文雄内閣総理大臣のメッセージを披露した。 続いて議事に入り、令和5年度決算について、事務局が令和5年度会務及び会計報告の説明、三宅浩正監事（愛媛県議会議長）が会計監査報告を行った後、認定した。 次に、役員会提出の「人口減少の克服に向けた少子化対策と地方創生の推進に関する決議」、「地域経済の持続的な成長の実現に関する決議」、「地方税財源の充実確保に関する決議」、「防災・減災対策、国土強靱化の充実強化に関する決議」、「地方議会に関する地方自治法改正を踏まえた多様な人材が参画するための環境整備等に関する決議」、「東京電力福島第一原子力発電所事故対策に関する決議」を原案のとおり決定するとともに、各委員会の委員長による報告の後、「令和7年度政府予算編成及び施策に関する提言」を原案のとおり決定した。 なお、決議に係る審議では、中谷恭典大阪府議会議長から、「地方議会に関する地方自治法改正を

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		踏まえた多様な人材が参画するための環境整備等に関する決議」の厚生年金への地方議会議員の加入に関する部分に反対する旨の発言があり、工藤大輔岩手県議会議長から、原案に賛成する旨の発言があった。提言に係る審議では、中谷大阪府議会議長から、地方自治委員会提出の提言に含まれる厚生年金への地方議会議員の加入に関する部分に反対する旨の発言があった。 その後、役員等の選任では、副会長について、総会前に開催した役員選考委員会の選考の経過と結果について直江弘文委員長（愛知県議会議長）から報告して諮り、選任するとともに、理事、監事、各委員会の正副委員長について、各ブロック又は組合せブロックにおいて互選した結果を事務局から報告して諮り、決定した。 以上で議事が終了し、次期定例総会（10月31日）の開催地である山形県議会の森田廣議長が歓迎のあいさつを述べた。 また、「多様な人材が輝く議会のための17の提言」事項や主権者教育の推進、投票率向上に向けた課題に関する調査研究、地方創生に関する今後の取組について事務局から報告した。 その後、山本会長は、就業中の人が議員になりやすくなるよう、各都道府県議会の議長に対し、各企業の就業規則において立候補に伴う休暇制度を創設することなどについて、地域の経済団体への働きかけを依頼した。 加えて、山本会長は、議会が主体となった主権者教育を推進する上では、規模の小さな市町村議会においては事務局職員が少ないため、関係機関との連携がより必要であることを説明するとともに、各都道府県議会が、三議長会が発行した「地方議会が進める主権者教育事例集」を教育委員会に説明し、都道府県教育委員会から市町村教育委員会に情報を提供することで、主権者教育の取組を促進するよう併せて協力を要請した。 最後に、人口戦略会議の増田寛也副議長から、「人口減少といかに向き合うか～『消滅可能性都市』公表から10年」と題する講演を聴取し、閉会した。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容																																																									
		全国都道府県議会議長会役員（敬称略） <table><tr><td>会長</td><td>富山県議会議長</td><td>山 本 徹</td></tr><tr><td>副会長</td><td>北海道議会議長</td><td>冨 原 亮</td></tr><tr><td>副会長</td><td>青森県議会議長</td><td>丸 井 裕</td></tr><tr><td>副会長</td><td>埼玉県議会議長</td><td>齊 藤 邦 明</td></tr><tr><td>副会長</td><td>福井県議会議長</td><td>宮 本 俊</td></tr><tr><td>副会長</td><td>滋賀県議会議長</td><td>有 村 國 俊</td></tr><tr><td>副会長</td><td>岡山県議会議長</td><td>久 徳 大 輔</td></tr><tr><td>副会長</td><td>香川県議会議長</td><td>松 原 哲 也</td></tr><tr><td>副会長</td><td>沖縄県議会議長</td><td>中 川 京 貴</td></tr><tr><td>理事</td><td>福島県議会議長</td><td>西 山 尚 利</td></tr><tr><td>理事</td><td>千葉県議会議長</td><td>瀧 田 敏 幸</td></tr><tr><td>理事</td><td>岐阜県議会議長</td><td>水 野 正 敏</td></tr><tr><td>理事</td><td>大阪府議会議長</td><td>中 谷 恭 典</td></tr><tr><td>理事</td><td>鳥取県議会議長</td><td>浜 崎 晋 一</td></tr><tr><td>理事</td><td>愛媛県議会議長</td><td>三 宅 浩 正</td></tr><tr><td>理事</td><td>長崎県議会議長</td><td>徳 永 達 也</td></tr><tr><td>監事</td><td>長野県議会議長</td><td>山 岸 喜 昭</td></tr><tr><td>監事</td><td>奈良県議会議長</td><td>中 野 雅 史</td></tr><tr><td>監事</td><td>高知県議会議長</td><td>加 藤 漠</td></tr></table>	会長	富山県議会議長	山 本 徹	副会長	北海道議会議長	冨 原 亮	副会長	青森県議会議長	丸 井 裕	副会長	埼玉県議会議長	齊 藤 邦 明	副会長	福井県議会議長	宮 本 俊	副会長	滋賀県議会議長	有 村 國 俊	副会長	岡山県議会議長	久 徳 大 輔	副会長	香川県議会議長	松 原 哲 也	副会長	沖縄県議会議長	中 川 京 貴	理事	福島県議会議長	西 山 尚 利	理事	千葉県議会議長	瀧 田 敏 幸	理事	岐阜県議会議長	水 野 正 敏	理事	大阪府議会議長	中 谷 恭 典	理事	鳥取県議会議長	浜 崎 晋 一	理事	愛媛県議会議長	三 宅 浩 正	理事	長崎県議会議長	徳 永 達 也	監事	長野県議会議長	山 岸 喜 昭	監事	奈良県議会議長	中 野 雅 史	監事	高知県議会議長	加 藤 漠
会長	富山県議会議長	山 本 徹																																																									
副会長	北海道議会議長	冨 原 亮																																																									
副会長	青森県議会議長	丸 井 裕																																																									
副会長	埼玉県議会議長	齊 藤 邦 明																																																									
副会長	福井県議会議長	宮 本 俊																																																									
副会長	滋賀県議会議長	有 村 國 俊																																																									
副会長	岡山県議会議長	久 徳 大 輔																																																									
副会長	香川県議会議長	松 原 哲 也																																																									
副会長	沖縄県議会議長	中 川 京 貴																																																									
理事	福島県議会議長	西 山 尚 利																																																									
理事	千葉県議会議長	瀧 田 敏 幸																																																									
理事	岐阜県議会議長	水 野 正 敏																																																									
理事	大阪府議会議長	中 谷 恭 典																																																									
理事	鳥取県議会議長	浜 崎 晋 一																																																									
理事	愛媛県議会議長	三 宅 浩 正																																																									
理事	長崎県議会議長	徳 永 達 也																																																									
監事	長野県議会議長	山 岸 喜 昭																																																									
監事	奈良県議会議長	中 野 雅 史																																																									
監事	高知県議会議長	加 藤 漠																																																									

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容			
		全国都道府県議会議長会各委員会正副委員長（敬称略）			
		地方自治委員会	委員長	和歌山県議会議長	鈴 木 太 雄
			副委員長	山形県議会議長	森 田 廣
			副委員長	新潟県議会議長	皆 川 雄 二
			副委員長	大分県議会議長	元 吉 俊 博
		社会文教委員会	委員長	徳島県議会議長	元 木 章 生
			副委員長	岩手県議会議長	工 藤 大 輔
			副委員長	静岡県議会議長	落 合 慎 悟
		経済産業環境委員会	委員長	鹿児島県議会議長	松 里 保 廣
			副委員長	群馬県議会議長	須 藤 和 臣
			副委員長	島根県議会議長	中 島 謙 二
		国土交通委員会	委員長	秋田県議会議長	北 林 丈 正
			副委員長	石川県議会議長	善 田 善 彦
			副委員長	京都府議会議長	石 田 宗 久
			副委員長	広島県議会議長	中 本 隆 志
		農林水産委員会	委員長	神奈川県議会議長	柳 下 剛
			副委員長	兵庫県議会議長	浜 田 知 昭
			副委員長	山口県議会議長	柳 居 俊 学
			副委員長	宮崎県議会議長	濱 砂 守
12	6 . 7 . 24	第 1 回地方創生懇談会 東京・都道府県会館において開催した。 同懇談会は、地方創生10年の節目を迎え、未だ解決していない地方創生の諸課題に対し国、地方公			

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		共団体がより一層連携し、真剣に取り組むべきであり、本会としても、機を逸することなく一致団結して取り組み、主張を発信していく必要があることから、山本徹会長（富山県議会議長）の発意により設置したものであり、正副会長で構成している。 第1回会合では、山本会長のあいさつの後、事務局より地方創生の現状、懇談会の設置趣旨と論点（案）について説明を行った。 続いて、副会長から今後の地方創生にかける思いなどについて順次発言し、意見交換を行った。 <地方創生懇談会委員名簿> 山本 徹 会 長（富山県議会議長） 富原 亮 副会長（北海道議会議長） 丸井 裕 副会長（青森県議会議長） 齊藤 邦明 副会長（埼玉県議会議長） 宮本 俊 副会長（福井県議会議長） 有村 國俊 副会長（滋賀県議会議長） 久徳 大輔 副会長（岡山県議会議長） 松原 哲也 副会長（香川県議会議長） 中川 京貴 副会長（沖縄県議会議長）
13	6. 7. 25	内閣総理大臣主催による都道府県議会議長との懇談会に出席 東京・総理大臣官邸において、岸田文雄内閣総理大臣主催による都道府県議会議長との懇談会が開催された。 本会からは、山本徹会長（富山県議会議長）をはじめ正副議長46名が出席し、岸田内閣総理大臣、松本剛明総務大臣、林芳正内閣官房長官などと意見交換を行った。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		冒頭、岸田内閣総理大臣から、地方創生の推進や少子化対策、物価高騰など様々な課題に直面しているが、現場の声を聞き、地方と共に課題に正面から向き合っていきたい旨の発言があった。 続いて、山本会長から、地方創生の更なる推進や主権者教育、多様な人材が地方議員に立候補しやすい環境整備に取り組んでいる旨発言した。 その後、各ブロックを代表し7名の議長が発言した後、岸田内閣総理大臣が返答した。 <発言議長・テーマ> 北海道東北ブロック 森田 廣 山形県議会議長「高規格道路ネットワークの整備推進について」 関東ブロック 齊藤 邦明 埼玉県議会議長「高温障害による農家減収対策等の強化について」 東海北陸ブロック 宮本 俊 福井県議会議長「新幹線の整備促進について」 近畿ブロック 有村 國俊 滋賀県議会議長「保護司の安全確保について」 中国ブロック 中島 謙二 島根県議会議長「地方鉄道の維持・確保について」 四国ブロック 松原 哲也 香川県議会議長「地方の実情に応じた空港の機能強化の推進について」 九州ブロック 徳永 達也 長崎県議会議長「安全・安心で強靱な地域づくりとインフラ老朽化対策について」
14	6. 7. 25	役員会及び各委員会、令和7年度政府予算編成及び施策に関する決議・提言に係る要請活動を実施

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		役員会 <要請先>（順不同） 自由民主党 渡海 紀三朗 政務調査会長 根本 幸典 総務部会長 公明党 上田 勇 政務調査会長代理 中川 康洋 総務部会長 中川 宏昌 衆議院議員 興水 恵一 衆議院議員 金城 泰邦 衆議院議員 新妻 秀規 参議院議員 矢倉 克夫 参議院議員 <参加者> 山本 徹 会 長（富山県議会議長） 丸井 裕 副会長（青森県議会議長） 齊藤 邦明 副会長（埼玉県議会議長） 有村 國俊 副会長（滋賀県議会議長） 松原 哲也 副会長（香川県議会議長） 中川 京貴 副会長（沖縄県議会議長） 中塚 周一 岡山県議会副議長 <要請事項>

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		人口減少の克服に向けた少子化対策と地方創生の推進、地方議会に関する地方自治法改正を踏まえた多様な人材が参画するための環境整備（厚生年金への地方議会議員の加入の実現等）等 地方自治委員会 ＜要請先＞（順不同） 内閣府 自見 はなこ 内閣府特命担当大臣（地方創生） 自由民主党 根本 幸典 総務部会長 ＜参加者＞ 鈴木 太雄 委 員 長（和歌山県議会議長） 森田 廣 副委員長（山形県議会議長） 皆川 雄二 副委員長（新潟県議会議長） ＜要請事項＞ 多様な人材が議会に参画するための環境整備（厚生年金への地方議員の加入等）、デジタル田園都市国家構想交付金や特定地域づくり事業推進交付金などの安定的かつ継続的な確保等 社会文教委員会 ＜要請先＞（順不同） こども家庭庁 工藤 彰三 内閣府副大臣 文部科学省 あべ 俊子 文部科学副大臣 自由民主党

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		大串 正樹 厚生労働部会長 厚生労働省 伊原 和人 厚生労働事務次官 <参加者> 元木 章生 委 員 長（徳島県議会議員） 工藤 大輔 副委員長（岩手県議会議員） 鳥澤 由克 静岡県議会副議長 <要請事項> 少子化対策・子育て支援の抜本的強化、地域医療提供体制の強化、厚生年金への地方議会議員の加入の実現、教育の機会均等と水準の維持向上に向けた取組について等 経済産業環境委員会 <要請先>（順不同） 環境省 八木 哲也 環境副大臣 経済産業省 吉田 宣弘 経済産業大臣政務官 自由民主党 高木 啓 経済産業部会副部会長 <参加者> 松里 保廣 委 員 長（鹿児島県議会議員） 須藤 和臣 副委員長（群馬県議会議員） 中島 謙二 副委員長（島根県議会議員）

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		＜要請事項＞ 地域経済の持続的な成長の実現、企業の地方移転と雇用創出の推進、生活環境保全対策の推進等 国土交通委員会 ＜要請先＞ 内閣官房 松村 祥史 国土強靱化担当大臣 ＜参加者＞ 北林 丈正 委 員 長（秋田県議会議員） 善田 善彦 副委員長（石川県議会議員） 石田 宗久 副委員長（京都府議会議員） ＜要請事項＞ 防災・減災対策、国土強靱化の充実強化、観光の更なる活性化の推進、鉄道の整備促進及び地域鉄道の確保・維持等 農林水産委員会 ＜要請先＞（順不同） 農林水産省 高橋 光男 農林水産大臣政務官 自由民主党 藤木 眞也 農林部会長代理 ＜参加者＞ 柳下 剛 委 員 長（神奈川県議会議員） 浜田 知昭 副委員長（兵庫県議会議員）

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		＜要請事項＞ 食料安全保障の強化、農業の持続可能な成長を実現するための取組の推進について等
15	6. 8. 15	山本会長、全国戦没者追悼式に参列 東京・日本武道館において、政府主催により執り行われ、本会からは、山本徹会長（富山県議会議長）が参列した。 なお、追悼式には、天皇皇后両陛下御臨席の下、岸田文雄内閣総理大臣、衆参両院の議員、戦没者遺族など約4,000名が参列した。
16	6. 8. 27	山本会長、自由民主党総務部会関係合同会議に出席 東京・自由民主党本部において開催され、本会の山本徹会長（富山県議会議長）を始め、地方六団体の代表が出席した。 本会事務局からは、「第178回定例総会議決事項」を提出するとともに、地方六団体からは、「自由民主党総務部会関係合同会議主要要望項目」を提出し、代表して村井嘉浩全国知事会会長（宮城県知事）より、地方一般財源総額の確保・充実、人口減少対策及び地方創生の強力な推進、防災、減災対策の推進と強靱な国土づくり、税制抜本改革の推進等について要望した。
17	6. 9. 4	第2回地方創生懇談会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。 同会合では、第1回（7月24日）において委員から国との意見交換の必要性について発言があったことを踏まえ、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局の岩間浩内閣審議官から「地方創生10年の取組と今後の推進方向」について説明を聴取するとともに、人口減少対策や地方創生に關す

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		る考え方、地方の位置付け・役割等について意見交換を行った。 また、事務局から、8月に島根県庁、同県海士町において実施した先進事例調査について報告を行った。 <第2回地方創生懇談会出席者> 山本 徹 会 長（富山県議会議員） 齊藤 邦明 副会長（埼玉県議会議員）〈WEB〉 宮本 俊 副会長（福井県議会議員）〈WEB〉 久徳 大輔 副会長（岡山県議会議員） 松原 哲也 副会長（香川県議会議員） 中川 京貴 副会長（沖縄県議会議員）
18	6.10.1	地方六団体、「新内閣発足に当たっての共同コメント」を発表 本会など地方六団体は、石破新内閣が発足したことを受け、「新内閣発足に当たっての共同コメント」を発表した。
19	6.10.21	令和6年度都道府県議会議員及び市区町村議会議員総務大臣感謝状贈呈式 東京・ホテルルポール麹町において、総務省主催により挙行され、山本徹会長（富山県議会議員）が来賓として出席し、祝辞を述べた。 地方議会議員として35年以上在職し、地方自治の発展に功労があった者に対し、総務大臣から感謝状が贈呈されるもので、令和6年度は50名（うち都道府県議会議員1名）に贈呈が行われた。 式典では、船橋利実総務大臣政務官が式辞を述べた後、船橋大臣政務官から、都道府県議会議員、市議会議員及び町村議会議員の代表者に感謝状と記念品が授与された。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		なお、被贈呈者を代表して、瓜生信一郎福島県議会議員が謝辞を述べた。
20	6.10.24	令和6年9月20日からの大雨災害による被害に対する見舞金を贈呈 山本徹会長（富山県議会議長）が、令和6年9月20日からの大雨災害で人的被害の大きかった石川県への見舞金を、善田善彦石川県議会議長に贈呈した。
21	6.10.24	各委員会 東京・都道府県会館において、対面出席とオンライン出席を併用するハイブリット方式で開催し、関係府省から説明を聴くとともに、「令和7年度政府予算編成に関する提言（案）」を審査した。 地方自治委員会 ＜説明内容＞ 総務省重点施策2025について ＜説明者＞ 恩田 馨 総務省大臣官房総括審議官 ＜提言案項目＞ 「地方創生の推進について」等15項目 社会文教委員会 ＜説明内容＞ 教師を取り巻く環境整備について ＜説明者＞ 森 孝之 文部科学省大臣官房学習基盤審議官 ＜提言案項目＞

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		「少子化対策・子育て支援の抜本的強化について」等8項目 経済産業環境委員会 ＜説明内容＞ 中小企業支援に関する施策について ＜説明者＞ 貴田 仁郎 中小企業庁長官官房総務課長 ＜提言案項目＞ 「地域経済の持続的な成長の実現について」等5項目 国土交通委員会 ＜説明内容＞ 地域公共交通の維持に関する施策について ＜説明者＞ 池光 崇 国土交通省大臣官房公共交通政策審議官 ＜提言案項目＞ 「防災・減災対策、国土強靱化の充実強化について」等7項目 農林水産委員会 ＜説明内容＞ 生産資材の確保・安定供給のための取組について ＜説明者＞ 山口 靖 農林水産省大臣官房総括審議官 ＜提言案項目＞ 「食料安全保障の強化について」等5項目

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
22	6 . 10. 24	役員会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。 会議では、10月31日に山形県で開催する第179回定例総会の開催ブロックの理事である西山尚利福島県議会議長が歓迎のあいさつを述べた。 続いて、自治功労者の表彰、第179回定例総会の提出議案、標準傍聴規則等の改正案等について協議した。 自治功労者の表彰については、10月31日付けで中本隆志広島県議会議長を特別功労者（議長在職5年以上）として表彰するとともに、各都道府県議会から推薦された議員144名を永年勤続功労者として表彰することを決定した。 また、地方創生懇談会や主権者教育の推進等について、事務局から報告した。
23	6 . 10. 24	第3回地方創生懇談会 東京・都道府県会館において開催した。 同会合では、こども家庭庁の竹林悟史長官官房審議官（成育局担当）から「少子化対策」について説明を聴取するとともに、人口減少対策、少子化対策について意見交換を行った（こども家庭庁の清原慶子参与が同席）。 また、懇談会提言（案）骨子について協議を行った。 <第3回地方創生懇談会出席者> 山本 徹 会 長（富山県議会議長） 富原 亮 副会長（北海道議会議長） 齊藤 邦明 副会長（埼玉県議会議長） 宮本 俊 副会長（福井県議会議長）

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		久徳 大輔 副会長（岡山県議会議員） 中川 京貴 副会長（沖縄県議会議員） 目片 信悟 滋賀県議会副議長
24	6.10.30	各都道府県議会議員、令和6年秋の園遊会に出席 東京・赤坂御苑において、天皇皇后両陛下主催により催され、本会からは、議長6名が出席した。 なお、園遊会には、石破茂内閣総理大臣、地方公共団体代表、各界の功績者など約1,400名が出席した。
25	6.10.31	第179回定例総会 山形・ホテルメトロポリタン山形において開催した。 総会では、はじめに地元山形県の森田廣議長、山本徹会長（富山県議会議員）のあいさつの後、吉村美栄子山形県知事、高倉正則山形市副市長が歓迎のあいさつを述べた。 続いて、石破茂内閣総理大臣のメッセージを丸井裕青森県議会議員が披露、村上誠一郎総務大臣の祝辞を原邦彰総務審議官が代読した後、参議院議長の祝電を披露した。 次に、自治功労者の表彰に移り、議長在職5年の特別功労者として中本隆志広島県議会議員を表彰した。その後、猫田孝岐阜県議会議員（在職50年）、瓜生信一郎福島県議会議員（在職35年）、北岡千はる京都府議会議員（在職30年）など、在職30年以上の永年勤続功労者7名を表彰し、工藤大輔岩手県議会議員など、在職10年以上から25年以上までの永年勤続功労者137名を表彰した。 その後、新任正副議長の紹介に続いて、森田山形県議会議員が総会議長を務め、議事に入り、役員会提出の「人口減少の克服に向けた少子化対策と地方創生の推進に関する決議」、「地域経済の持続的な成長の実現に関する決議」、「地方税財源の充実確保に関する決議」、「防災・減災対策、国土

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		強靱化の充実強化に関する決議」、「地方議会に関する地方自治法改正を踏まえた多様な人材が参画するための環境整備等に関する決議」、「東京電力福島第一原子力発電所事故対策に関する決議」を決定するとともに、各委員会の委員長による報告の後、「令和7年度政府予算編成に関する提言」を決定した。 なお、決議及び提言に係る審議に際し、欠席の中谷恭典大阪府議会議長から、「地方議会に関する地方自治法改正を踏まえた多様な人材が参画するための環境整備等に関する決議」の厚生年金への地方議会議員の加入に関する部分、地方自治委員会提出の提言に含まれる厚生年金への地方議会議員の加入に関する部分に反対する意見が文書で提出されている旨、事務局が報告した。 また、明年秋に開催予定の第182回定例総会を関東ブロックの神奈川県において開催することを決定し、これを受けて、柳下剛神奈川県議会議長があいさつを述べた。 以上で総会の議事が終了し、最後に森田山形県議会議長が開催地としての御礼あいさつを述べ、閉会した。 総会終了後、株式会社SHONAI代表取締役の山中大介氏より、「地方の可能性を世界経済とつなぐ」と題する講演を聴取した。
26	6.11.1	地方創生懇談会、宮城県において視察を実施 まず、トヨタ自動車東日本株式会社大衡工場を訪問し、「地域産業との相互研鑽事業の取組等」について説明を聴取した後、意見交換を行い、自動車の製造現場を見学した。 その後、宮城県庁において、「宮城県における地方創生の重点的な取組」及び「産業集積に向けた取組等」について説明を聴取した後、意見交換を行った。 <地方創生懇談会視察出席者> 山本 徹 会 長（富山県議会議長）

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		齊藤 邦明 副会長（埼玉県議会議員） 宮本 俊 副会長（福井県議会議員） 有村 國俊 副会長（滋賀県議会議員） 久徳 大輔 副会長（岡山県議会議員） 中川 京貴 副会長（沖縄県議会議員）
27	6.11.12	第24回都道府県議会議員研究交流大会 東京・ベルサール半蔵門において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。 開会冒頭、山本徹会長（富山県議会議員）が主催者を代表してあいさつを述べた後、基調講演、第1分科会、第2分科会を開催した。 基調講演では、水谷智之（一財）地域・教育魅力化プラットフォーム理事・会長が講演を行った。講演には、同プラットフォームの岩本悠代表理事、（株）AMAホールディングスの堀之内千夏氏、慶應義塾大学環境情報学部の池本次朗氏も参加した。 両分科会では、コーディネーター、パネリストと参加する議員との間で意見交換を行った。 <基調講演> 「地方創生から10年 若者に選ばれ続ける地域づくり～高校再生を起点に若者還流を～」 水谷 智之 （一財）地域・教育魅力化プラットフォーム理事・会長他 <第1分科会「議会が主体的に行う主権者教育の推進」> 将来の地方自治を担うこどもたちの議会に対する関心を高めるとともに理解を深めるため、主権者教育の効果的な取組方策について考える。 コーディネーター

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		樋口 雅夫 玉川大学教育学部教育学科教授 パネリスト 矢吹 栄修 山形県議会副議長 石井 邦一 茨城県議会議員 原田 笑壽 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科修士課程 蒲生 杏奈 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科修士課程 ＜第2分科会「多様性のある地方議会の実現」＞ 地方公共団体の意思を決定する地方議会の審議に、より幅広い層の住民の声が反映されるよう、また、女性や若者等多様な人材の議会への参画を促進するため、議会・議員が果たすべき役割を考える。 コーディネーター 谷口 尚子 慶應義塾大学法学部政治学科教授 パネリスト 岡田 理絵 徳島県議会議員 岡田 静佳 埼玉県議会議員 平野 祐也 岐阜県議会議員
28	6.11.13	役員会、令和7年度政府予算編成に関する決議・提言に係る要請活動を実施 ＜要請先＞（順不同） 総理大臣官邸 林 芳正 内閣官房長官 橘 慶一郎 内閣官房副長官 青木 一彦 内閣官房副長官

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		自由民主党 鈴木 俊一 総務会長 山口 俊一 地方創生実行統合本部長 ＜参加者＞ 山本 徹 会 長（富山県議会議長） 富原 亮 副会長（北海道議会議長） 丸井 裕 副会長（青森県議会議長） 齊藤 邦明 副会長（埼玉県議会議長） 宮本 俊 副会長（福井県議会議長） 久徳 大輔 副会長（岡山県議会議長） 目片 信悟 滋賀県議会副議長 谷久 浩一 香川県議会副議長 ＜要請事項＞ 人口減少の克服に向けた少子化対策と地方創生の推進、地方議会に関する地方自治法改正を踏まえた多様な人材が参画するための環境整備（厚生年金への地方議会議員の加入の実現等）等
29	6.11.13	経済産業環境委員会、令和7年度政府予算編成に関する決議・提言に係る要請活動を実施 ＜要請先＞（順不同） 経済産業省 飯田 祐二 経済産業事務次官 環境省 松本 啓朗 水・大気環境局長

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		＜参加者＞ 松里 保廣 委 員 長（鹿児島県議会議長） 中島 謙二 副委員長（島根県議会議長） ＜要請事項＞ 地域経済の持続的な成長の実現、企業の地方移転と雇用創出の推進、生活環境保全対策の推進等
30	6.11.14	地方六団体、「日本創生に向けた人口減少対策などを求める緊急提言」について要請 地方六団体の代表が伊東良孝新しい地方経済・生活環境創生担当大臣を訪問し、日本創生に向けた人口減少対策などを求める要請活動を行った。 本会からは山本徹会長（富山県議会議長）が参加した。 ＜参加者＞ 村井 嘉浩 全国知事会会長（宮城県知事） 平井 伸治 全国知事会人口戦略対策本部長（鳥取県知事） 山本 徹 全国都道府県議会議長会会長（富山県議会議長） 吉田 信解 全国市長会副会長（埼玉県本庄市長） 坊 恭寿 全国市議会議長会会長（兵庫県神戸市会議長） 吉田 隆行 全国町村会会長（広島県坂町長） 渡部 孝樹 全国町村議会議長会会長（北海道厚真町議会議長）
31	6.11.19	地方自治委員会、令和7年度政府予算編成に関する決議・提言に係る要請活動を実施 ＜要請先＞（順不同） 内閣府

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		伊東 良孝 内閣府特命担当大臣（地方創生） 総務省 古川 直季 総務大臣政務官 自由民主党 小寺 裕雄 総務部会長代理 <参加者> 鈴木 太雄 委 員 長（和歌山県議会議長） 皆川 雄二 副委員長（新潟県議会議長） <要請事項> 地方の安定的な財政運営に必要な地方一般財源総額の充実確保、税源の偏在性が小さく税収の安定性を備えた地方税体系の構築、多様な人材が議会に参画するための環境整備（厚生年金への地方議員の加入等）、地方創生に関係する交付金の大幅な拡充等
32	6 . 11. 19	山本会長、自由民主党「予算・税制等に関する政策懇談会」に出席 東京・自由民主党本部において開催され、本会からは山本徹会長（富山県議会議長）が出席した。会議では、令和7年度予算・税制等について、地方六団体等から要望を行うとともに、関係国会議員との意見交換が行われた。 本会から、10月31日の第179回定例総会で決定した令和7年度政府予算編成に関する決議・提言を提出し、山本会長より以下について発言を行った。 <発言内容> ①地方一般財源総額の確保 ②総合経済対策の早期策定、「年収103万円の壁」の見直し等による地方財政への影響に係る対応

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		③地方創生交付金の倍増と使い勝手の改善、地方拠点強化税制の拡充 ④地方議会に多様な人材が参画するための環境整備
33	6.11.20	社会文教委員会、令和7年度政府予算編成に関する決議・提言に係る要請活動を実施 <要請先>（順不同） 厚生労働省 仁木 博文 厚生労働副大臣 文部科学省 金城 泰邦 文部科学大臣政務官 こども家庭庁 高橋 宏治 長官官房審議官（総合政策等担当） 自由民主党 国光 あやの 厚生労働部会長代理 <参加者> 元木 章生 委 員 長（徳島県議会議長） 落合 慎悟 副委員長（静岡県議会議長） <要請事項> 少子化対策・子育て支援の抜本的強化、地域医療提供体制の強化、厚生年金への地方議会議員の加入の実現、教育の機会均等と水準の維持向上に向けた取組について等
34	6.11.21	国土交通委員会、令和7年度政府予算編成に関する決議・提言に係る要請活動を実施 <要請先>（順不同）

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		内閣府 鳩山 二郎 内閣府副大臣（国土強靱化担当） 自由民主党 深澤 陽一 国土交通部会長代理 <参加者> 北林 丈正 委 員 長（秋田県議会議長） 善田 善彦 副委員長（石川県議会議長） 石田 宗久 副委員長（京都府議会議長） <要請事項> 防災・減災対策、国土強靱化の充実強化、観光の更なる活性化の推進、鉄道の整備促進及び地域鉄道の確保・維持等
35	6.11.21	農林水産委員会、令和7年度政府予算編成に関する決議・提言に係る要請活動を実施 <要請先>（順不同） 自由民主党 上月 良祐 農林部会長 鈴木 貴子 水産部会長 上田 英俊 農林水産関係団体委員長 兼 農林部会長代理 <参加者> 浜田 知昭 副委員長（兵庫県議会議長） <要請事項> 食料安全保障の強化、農業の持続可能な成長を実現するための取組の推進、水産資源の安定的な確

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		保及び漁業経営の強化等
36	6 . 11. 27	三議長会、「厚生年金への地方議会議員の加入を求める決議」について自由民主党に要請 三議長会の会長が、「厚生年金への地方議会議員の加入を求める決議」について、以下のとおり要請活動を実施した。 <要請先> 石田 真敏 衆議院議員（自由民主党総務部会「地方議会の課題に関するP T」座長） <参加者> 山本 徹 全国都道府県議会議長会会長（富山県議会議長） 坊 恭寿 全国市議会議長会会長（兵庫県神戸市会議長） 渡部 孝樹 全国町村議会議長会会長（北海道厚真町議会議長）
37	6 . 11. 27	山本会長、「国と地方の協議の場（令和6年度第2回）」に出席 東京・総理大臣官邸で開催され、本会からは山本徹会長（富山県議会議長）が出席した。 会議においては、「新地方創生及び地方分権改革の推進」及び「人口減少対策及び若者・女性にも選ばれる地方」について、関係閣僚と協議した。 本会からは、次の内容を発言した。 <発言内容> ・地方創生交付金の倍増 ・本会の正副会長による地方創生懇談会において、提言を取りまとめる予定であること ・新たな基本構想への地方の声の反映 ・年収103万円の壁の引上げ等に伴い地方が担う行政サービスの提供に支障が生じないよう、財源の

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		確保及び丁寧な議論の実施 ・三議長会における主権者教育の取組の紹介 ・厚生年金への地方議会議員の加入実現に向けた支援 ・本来の目的とかけ離れた選挙運動用ポスターの掲示を行う事例がみられたことを踏まえ、選挙の権威を守るための対応 ＜政府出席者＞ 石破 茂 内閣総理大臣 林 芳正 内閣官房長官 村上 誠一郎 総務大臣 伊東 良孝 内閣府特命担当大臣（地方創生）兼 新しい地方経済・生活環境創生担当大臣 斎藤 洋明 財務副大臣 福岡 資麿 厚生労働大臣 坂井 学 国土強靱化担当大臣 兼 内閣府特命担当大臣（防災） 三原 じゅん子 内閣府特命担当大臣（こども政策 少子化対策 若者活躍 男女共同参画） 赤澤 亮正 新しい資本主義担当大臣
38	6 . 11. 29	第2回主権者教育リーフレット有識者会議 東京・都道府県会館において、対面出席とオンライン出席を併用するハイブリッド方式で開催した。三議長会では令和6年度中に、各議会が実施する主権者教育事業に際して配布することを主な目的とした、主権者教育リーフレットの発行を予定しており、本会議はリーフレットの内容等について有識者から御意見を頂くことを目的に開催された。 会議では、第1回の会議で頂いた御意見を踏まえて事務局が作成したリーフレット案について、4

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		名の有識者から御意見を頂くとともに、全体での意見交換を行った。 ＜出席者＞ 有識者（五十音順） 井柳 美紀 静岡大学人文社会科学部教授 河村 和徳 東北大学大学院情報科学研究科准教授 樋口 雅夫 玉川大学教育学部教授 渡辺 嘉久 読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局
39	6.11.29	都道府県議会議長等、地方議会活性化シンポジウム2024に参加 東京・日比谷コンベンションホールにおいて、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。（主催：総務省、共催：全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会） 対面参加では、都道府県議会は68名（議員54名、職員14名）が参加した。 シンポジウムでは、古川直季総務大臣政務官があいさつを行った後、パネルディスカッション（2部制）が行われ、パネリストとして、都道府県議会からは、石田宗久京都府議会議長が登壇した。 ＜テーマ＞ 多様な人材が参画する地方議会の実現へのアプローチ～課題への取組事例から考える～ ＜パネルディスカッション1「地方議会に対する関心を高め、理解を深めるための取組事例」＞ コーディネーター 金崎 健太郎 武庫川女子大学経営学部教授 パネリスト 石田 宗久 京都府議会議長

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		木村 諭史 東京都新島村議会議長 丸山 国一 山梨県甲州市議会議員 ＜パネルディスカッション2「多様な人材の参画に係る課題に対する取組事例」＞ コーディネーター 辻 陽 近畿大学法学部教授 パネリスト 赤嶺 奈津江 沖縄県南風原町議会議長 澤部 慶 茨城県取手市議会事務局次長 中村 清香 熊本県熊本市議会議会局次長
40	6.12. 6	三議長会、「厚生年金への地方議会議員の加入を求める決議」について総務省及び自由民主党に要請 三議長会の代表者が、「厚生年金への地方議会議員の加入を求める決議」について、以下のとおり要請活動を実施した。 ＜要請先＞（順不同） 総務省 富樫 博之 総務副大臣 自由民主党 森山 裕 幹事長 小野寺 五典 政務調査会長 島尻 安伊子 総務部会長 佐藤 信秋 地方行政調査会長 あかま 二郎 衆議院議員（総務部会「地方議会の課題に関するPT」事務局長） ＜参加者＞

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		山本 徹 全国都道府県議会議長会会長（富山県議会議長） 坊 恭寿 全国市議会議長会会長（兵庫県神戸市会議長） 松野 唱平 全国町村議会議長会理事（千葉県長南町議会議長）
41	6.12.6	山本会長、地方創生に関する地方六団体との意見交換会に出席 東京・中央合同庁舎4号館において開催され、本会からは山本徹会長（富山県議会議長）が出席した。 会合では、内閣官房から「新しい地方経済・生活環境創生、地方創生予算の全体像」等について説明の後、意見交換が行われた。 山本会長からは、①人口減少の抑制等に向けた国としての数値目標・期限の明示、②国自らの政府機関や国立大学の地方移転の推進、地方拠点強化税制の拡充による企業の地方移転の更なる促進、③若者や女性に選ばれる地域をつくり、地方定着を図るための取組の推進、④本会の地方創生懇談会が取りまとめる提言の内容について、政府が新たに策定する基本構想に反映することを要請した。 伊東良孝内閣府特命担当大臣（地方創生）兼新しい地方経済・生活環境創生担当大臣からは、①令和6年度補正予算案に「新しい地方経済・生活環境創生交付金」として1000億円を計上し、地方自治体の自主性と創意工夫に基づく取組へ強力な支援を行う②地方創生の先進的な取組の紹介③企業版ふるさと納税の活用④地方拠点強化税制の継続・拡充による企業の地方への移転を積極的に進める旨の回答があった。 <政府出席者> 伊東 良孝 内閣府特命担当大臣（地方創生） 兼 新しい地方経済・生活環境創生担当大臣
42	6.12.17	山本会長、「国と地方の協議の場（令和6年度第3回）」に出席

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容																		
		東京・総理大臣官邸で開催され、本会からは山本徹会長（富山県議会議長）が出席した。 会議においては、「令和7年度予算編成及び地方財政対策」について関係閣僚と協議し、本会からは次の内容を発言した。 <発言内容> ・物価上昇に見合う形での地方一般財源総額の増額を要請 ・年収103万円の壁の引上げ等による影響への恒久財源による措置を要請 ・高校授業料無償化等、こどもへの経済的支援の全国一律での実施を要請 ・三議長会において、各議会が出前講座や模擬議会で活用できるリーフレットを作成していることを紹介 ・学校と地方議会が連携した主権者教育への支援を要請 ・厚生年金制度の適用対象拡大の流れの中で地方議会議員の加入実現への期待が高まっていることから、三議長会でその実現に向け総務省等に要請活動を実施していることを紹介 <政府出席者> <table><tr><td>石破 茂</td><td>内閣総理大臣</td></tr><tr><td>林 芳正</td><td>内閣官房長官</td></tr><tr><td>村上 誠一郎</td><td>総務大臣</td></tr><tr><td>伊東 良孝</td><td>内閣府特命担当大臣（地方創生）兼 新しい地方経済・生活環境創生担当大臣</td></tr><tr><td>斎藤 洋明</td><td>財務副大臣</td></tr><tr><td>鈴木 馨祐</td><td>法務大臣</td></tr><tr><td>福岡 資麿</td><td>厚生労働大臣</td></tr><tr><td>三原 じゅん子</td><td>内閣府特命担当大臣（こども政策 少子化対策 若者活躍 男女共同参画）</td></tr><tr><td>滝波 宏文</td><td>農林水産副大臣</td></tr></table>	石破 茂	内閣総理大臣	林 芳正	内閣官房長官	村上 誠一郎	総務大臣	伊東 良孝	内閣府特命担当大臣（地方創生）兼 新しい地方経済・生活環境創生担当大臣	斎藤 洋明	財務副大臣	鈴木 馨祐	法務大臣	福岡 資麿	厚生労働大臣	三原 じゅん子	内閣府特命担当大臣（こども政策 少子化対策 若者活躍 男女共同参画）	滝波 宏文	農林水産副大臣
石破 茂	内閣総理大臣																			
林 芳正	内閣官房長官																			
村上 誠一郎	総務大臣																			
伊東 良孝	内閣府特命担当大臣（地方創生）兼 新しい地方経済・生活環境創生担当大臣																			
斎藤 洋明	財務副大臣																			
鈴木 馨祐	法務大臣																			
福岡 資麿	厚生労働大臣																			
三原 じゅん子	内閣府特命担当大臣（こども政策 少子化対策 若者活躍 男女共同参画）																			
滝波 宏文	農林水産副大臣																			

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
43	6.12.18	三議長会、「厚生年金への地方議会議員の加入を求める決議」について自由民主党及び公明党に要請 三議長会の会長が、「厚生年金への地方議会議員の加入を求める決議」について、以下のとおり要請活動を実施した。 地方議会は、投票率の低下や無投票当選の増加、議員の性別や年齢構成の偏り、議員のなり手不足などの課題を抱えている。 こうした課題に対応するため、地方議会議員の厚生年金制度への加入実現については、会社員等が議員に転身しても切れ目なく社会保障制度を継続できるようにし、家族の将来や老後の生活を心配することなく議員に立候補するための喫緊の課題となっていることから、政府・与野党に対し、三議長会の代表者が要請活動を行った。 <要請先>（順不同） 自由民主党 中曽根 康隆 青年局長 公明党 西田 実仁 幹事長 岡本 三成 政務調査会長 中川 康洋 総務部会長 <参加者> 山本 徹 全国都道府県議会議長会会長（富山県議会議長） 坊 恭寿 全国市議会議長会会長（兵庫県神戸市会議長） 渡部 孝樹 全国町村議会議長会会長（北海道厚真町会議長）
44	6.12.18	山本会長、本会「多様な人材が輝く議会のための懇談会」のメンバーであった4名の女性議員から要

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		請書を受領 山本徹会長（富山県議会議長）は、本会「多様な人材が輝く議会のための懇談会」のメンバーであった4名の女性議員から、男女共同参画の推進についての要請を受けた。 手交には、懇談会の発案者の1人である中森博文三重県議会議員（前議長）も同席した。 懇談会は、令和5年11月8日に山本会長が女性及び若手の正副議長及び地方自治委員会委員長をメンバーとして設置したもので、令和6年3月15日に「多様な人材が輝く議会のための17の提言」を取りまとめた。 要請を受け、山本会長からは、「17の提言」を踏まえ、本会など三議長会として、主権者教育を推進していることや、厚生年金への地方議会議員の加入について国に要請していることなどを説明した上で、要請については前向きに対応を検討していきたい旨発言した。 <要請者> 岡田 理絵 徳島県議会議員（元懇談会座長） 杉本 熊野 三重県議会議員（同委員） 岡田 静佳 埼玉県議会議員（同委員） 奥野 詠子 富山県議会議員（同委員）
45	6.12.23	地方六団体、自由民主党総務部会関係・消防議員連盟合同会議に出席 東京・自由民主党本部において開催された。 地方六団体は、「令和7年度予算編成及び地方財政対策について」の要請書を提出した。 また、六団体を代表して吉田隆行全国町村会会長（広島県坂町長）が、①地方一般財源総額・地方交付税総額の確保、②臨時財政対策債の発行抑制、③所得税や個人住民税の見直しによる地方財政への影響に対する適切な対応などを要請した。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
46	6.12.26	第4回地方創生懇談会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。同会合では、これまでの3回にわたる懇談会における議論及び11月の宮城県視察などを踏まえた「人口減少に打ち勝つ新たな地方創生の推進に関する提言」の取りまとめを行った。 また、懇談会の活動を終了するに当たり、各委員、山本会長がそれぞれあいさつを述べて閉会した。 <第4回地方創生懇談会出席者> 山本 徹 会 長（富山県議会議長） 富原 亮 副会長（北海道議会議長） 丸井 裕 副会長（青森県議会議長） 齊藤 邦明 副会長（埼玉県議会議長） 宮本 俊 副会長（福井県議会議長）〈WEB〉 有村 國俊 副会長（滋賀県議会議長） 久徳 大輔 副会長（岡山県議会議長） 松原 哲也 副会長（香川県議会議長） 中川 京貴 副会長（沖縄県議会議長）〈WEB〉
47	6.12.27	地方六団体、「令和7年度地方財政対策についての共同声明」を発表 本会など地方六団体は、令和7年度地方財政対策が決定されたことを受け、「令和7年度地方財政対策についての共同声明」を発表した。
48	7.1.1	山本会長等9名の議長、新年祝賀の儀に参列 東京・皇居において執り行われ、本会からは、山本徹会長（富山県議会議長）、富原亮副会長（北

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		海道議会議長）、丸井裕副会長（青森県議会議長）、齊藤邦明副会長（埼玉県議会議長）、有村國俊副会長（滋賀県議会議長）、久徳大輔副会長（岡山県議会議長）、松原哲也副会長（香川県議会議長）、水野正敏理事（岐阜県議会議長）、瀧砂守農林水産委員会副委員長（宮崎県議会議長）が参列した。 なお、新年祝賀の儀には、石破茂内閣総理大臣、衆参両院の議員、地方公共団体代表などが参列した。
49	7. 1. 10	三議長会、「厚生年金への地方議会議員の加入を求める決議」について立憲民主党及び国民民主党に要請 三議長会の代表者が、「厚生年金への地方議会議員の加入を求める決議」について、以下のとおり要請活動を実施した。 <要請先>（順不同） 立憲民主党 小川 淳也 幹事長 国民民主党 榛葉 賀津也 幹事長 浜口 誠 政務調査会長 <参加者> 山本 徹 全国都道府県議会議長会会長（富山県議会議長） 坊 恭寿 全国市議会議長会会長（兵庫県神戸市会議長） 松野 唱平 全国町村議会議長会理事（千葉県長南町会議長）
50	7. 1. 20	役員会

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。 会議では、1月22日に開催する第180回定例総会の日程、提出議案である人口減少に打ち勝つ新たな地方創生の推進に関する決議（案）、令和7年度本会予算（案）について協議するとともに、令和7年度本会行事計画を決定した。 その後、三議長会による厚生年金への地方議会議員の加入を求める要請活動、主権者教育の推進、男女共同参画委員会（仮称）の設置と女性議員研究交流大会（仮称）の開催について、事務局から報告した。
51	7. 1. 22	駐日インド共和国特命全権大使による講演を聴取 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で、シビ・ジョージ駐日インド共和国特命全権大使より、「インド太平洋地域それ以外の地域における印日パートナーシップ」と題する講演を聴取した。
52	7. 1. 22	第180回定例総会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催した。 総会では、はじめに山本徹会長（富山県議会議長）のあいさつの後、来賓の富樫博之総務副大臣があいさつを述べた。 次に、新任正副議長を紹介した後、第179回定例総会（令和6年10月31日）の開催地である山形県議会の森田廣議長が御礼のあいさつを述べた。 その後、議事に入り、「人口減少に打ち勝つ新たな地方創生の推進に関する決議」と令和7年度本会予算を決定した。 以上で総会の議事が終了し、その後、原邦彰総務審議官から、「地方行財政の課題」と題する講演

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		を聴取した。 最後に、三議長会による厚生年金への地方議会議員の加入を求める要請活動、主権者教育の推進、男女共同参画委員会（仮称）の設置と女性議員研究交流大会（仮称）の開催について、事務局から報告し、閉会した。
53	7. 1. 22	正副会長、「人口減少に打ち勝つ新たな地方創生の推進に関する決議」について記者会見を開催 正副会長は、第180回定例総会で決定した「人口減少に打ち勝つ新たな地方創生の推進に関する決議」について、記者会見を行った。 <「人口減少に打ち勝つ新たな地方創生の推進に関する決議」決議内容> ①国としての目標の明示、総合的に対策を推進するための司令塔の設置 ②国の取組と地方への強力な支援 ③若者や女性に選ばれ、定着する地域づくり「若い女性に選んでもらえる地域、若者が定着する地域をつくる」 ④大規模災害のリスク等を踏まえたバランスのとれた国土形成、東京圏一極集中是正などの取組 ⑤結婚、家庭・こどもを持つことに希望が持てるような結婚観・家族観の情報発信や気運醸成、地域への郷土愛を育む取組 ⑥地方議会においても地方創生に取り組んでいく決意表明 <出席者> 山本 徹 会 長（富山県議会議長） 富原 亮 副会長（北海道議会議長） 丸井 裕 副会長（青森県議会議長） 齊藤 邦明 副会長（埼玉県議会議長）

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		宮本 俊 副会長（福井県議会議長） 有村 國俊 副会長（滋賀県議会議長） 久徳 大輔 副会長（岡山県議会議長） 松原 哲也 副会長（香川県議会議長） 中川 京貴 副会長（沖縄県議会議長）
54	7. 1. 23	正副会長、「人口減少に打ち勝つ新たな地方創生の推進に関する決議」について要請活動を実施 正副会長は、1月22日に決定した「人口減少に打ち勝つ新たな地方創生の推進に関する決議」について、以下のとおり要請活動を実施した。 <要請先>（順不同） 総理大臣官邸 林 芳正 内閣官房長官 橘 慶一郎 内閣官房副長官 青木 一彦 内閣官房副長官 内閣府 伊東 良孝 内閣府特命担当大臣（地方創生） 兼 新しい地方経済・生活環境創生担当大臣 総務省 村上 誠一郎 総務大臣 自由民主党 小野寺 五典 政務調査会長 山口 俊一 新しい地方経済・生活環境創生本部長 ※秘書対応 こども家庭庁

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		渡辺 由美子 長官 ＜参加者＞ 山本 徹 会 長（富山県議会議員） 富原 亮 副会長（北海道議会議員） 丸井 裕 副会長（青森県議会議員） 齊藤 邦明 副会長（埼玉県議会議員） 宮本 俊 副会長（福井県議会議員） 有村 國俊 副会長（滋賀県議会議員） 久徳 大輔 副会長（岡山県議会議員） 松原 哲也 副会長（香川県議会議員） 中川 京貴 副会長（沖縄県議会議員）
55	7. 2. 6	三議長会「厚生年金への地方議会議員の加入を求める決議」について立憲民主党及び日本維新の会に要請 三議長会の会長が、「厚生年金への地方議会議員の加入を求める決議」について、以下のとおり要請活動を実施した。 ＜要請先＞（順不同） 立憲民主党 重徳 和彦 政務調査会長 逢坂 誠二 衆議院議員 日本維新の会 岩谷 良平 幹事長

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		青柳 仁士 政務調査会長 ＜参加者＞ 山本 徹 全国都道府県議会議長会会長（富山県議会議長） 坊 恭寿 全国市議会議長会会長（兵庫県神戸市会議長） 渡部 孝樹 全国町村議会議長会会長（北海道厚真町議会議長）
56	7. 2. 7	令和 7 年北方領土返還要求全国大会 本会など地方六団体は、北方領土返還要求運動連絡協議会及び内閣府との共催により、2月7日の「北方領土の日」に、東京・ニッショーホールにおいて、「令和 7 年北方領土返還要求全国大会」を開催した。 大会では、石破茂内閣総理大臣からビデオメッセージが寄せられるとともに、伊東良孝内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）があいさつを行い、宮路拓馬外務副大臣が岩屋毅外務大臣のあいさつを代読し、元島民の方々等が発言した。 また、最後にアピールを採択した。
57	7. 3. 14	三議長会、総務省及び文部科学省等に、若年層向けの「主権者教育用リーフレット」発行の報告を行うとともに、議会が行う主権者教育の取組に対する支援について要請 三議長会の会長が、三議長会で作成した若年層向けの「主権者教育用リーフレット」の公表に先立ち、総務省及び文部科学省等に、同リーフレット発行の報告を行うとともに、議会が行う主権者教育の取組に対する支援について要請した。 ＜報告及び要請先＞（順不同） 富樫 博之 総務副大臣

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		武部 新 文部科学副大臣 島尻 安伊子 自由民主党総務部会長 石田 真敏 衆議院議員（自由民主党総務部会「地方議会の課題に関するP T」座長） あかま 二郎 衆議院議員（自由民主党総務部会「地方議会の課題に関するP T」事務局長） ＜参加者＞ 山本 徹 全国都道府県議会議長会会長（富山県議会議長） 坊 恭寿 全国市議会議長会会長（兵庫県神戸市会議長） 渡部 孝樹 全国町村議会議長会会長（北海道厚真町議会議長）
58	7. 3. 14	三議長会、若年層向けの「主権者教育用リーフレット」公表記者会見を開催 東京・都道府県会館において、三議長会の会長が記者会見を開催し、若年層向けの主権者教育用リーフレットを発表した。 リーフレットは、議会が実施する主権者教育で活用する目的で作成され、将来の地域を担うこどもたちが地域の課題を見つけ、議論することの大切さや、地域の課題解決に取り組む地方議会・議員の役割を分かりやすく解説したもので、小学生・中学生向けの「フリーレンたちと学ぶ地方議会」、高校生・大学生向けの「あなたと共に創る未来-フリーレンと行く、地方議会を知る旅路-」の2種類を発表した。 どちらも、こどもたちに興味を持ってもらうために人気漫画『葬送のフリーレン』のキャラクターを使用し、イラストや漫画を多用することで、楽しみながら地方自治の仕組みを学べるよう工夫されている。 また、リーフレットに掲載された二次元コードなどからアクセスできる特設サイトも開設され、クイズやトリビアを通じて楽しみながら地方議会への理解を深めることができる。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		会見では、三議長会の会長が、リーフレット作成に至った背景や狙い、具体的な内容について説明を行うとともに、主権者教育に関する取組の意義や今後の意欲を述べた。 ＜出席者＞ 山本 徹 全国都道府県議会議長会会長（富山県議会議長） 坊 恭寿 全国市議会議長会会長（兵庫県神戸市会議長） 渡部 孝樹 全国町村議会議長会会長（北海道厚真町議会議長）
59	7. 3. 24	富原亮北海道議会議長が会長職務代理者に就任 山本徹会長（富山県議会議長）が議長職を離れたことから、新会長が選任されるまで、富原亮北海道議会議長が会長職務代理者となった。

事 務 局 関 係

(1) 会議の開催

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
1	令和6.4.11	全国都道府県議会事務局長会 東京・都道府県会館において、対面参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式で開催し、以下の講演を聴取するとともに、本会の取組や事務内容について説明を行った。 <演題及び講師> 「主権者教育の重要性～都道府県議会の観点から考える～」 静岡大学人文社会科学部教授 井柳 美紀 氏
2	6.4.18	第214回全国都道府県議会事務局職員研修会（総務・共済、議事新任関係） オンラインで開催し、以下の講演を聴取した。 <演題及び講師> 「地方議会における個人情報保護について」 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授 湯淺 壘道 氏 「議会の運営について」 元全国都道府県議会議長会事務局次長 内田 一夫 氏
3	6.7.2	社会文教委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第178回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
4	6.7.2	農林水産委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第178回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
5	6. 7. 3	地方自治委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第178回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
6	6. 7. 3	経済産業環境委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第178回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
7	6. 7. 3	国土交通委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第178回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
8	6. 7. 10	参与会 オンラインで開催し、7月16日開催の役員会の協議事項について協議した。
9	6. 8. 9	「投票率向上に向けた課題に関する調査研究報告書」の公表 本会事務局は、「投票率向上に向けた課題に関する調査研究報告書」を取りまとめ、本会HPで公表した。 この調査研究は、統一地方選挙（道府県議会議員選挙）における投票率の低下が深刻な問題となっており、令和5年4月の選挙で41.85%と過去最低を更新したこと、ブロック議長会議において投票率低下に係る問題提起があったこと等を踏まえ、事務局が実施したものである。 調査研究の結果を基に、投票率向上に向けた課題・論点を「有権者の政治参画意識」、「立候補者」、「投票環境」、「選挙制度」等に整理し、報告書として取りまとめた。 <調査研究内容> 1. 有識者ヒアリング（令和5年11月～令和6年3月）

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		議会・選挙等に精通する7名の有識者に対する投票率向上に向けた課題に関するヒアリング 2. 諸外国の事例調査（一般財団法人自治体国際化協会の協力を得て調査）（令和6年2月～5月） 投票率が高い諸外国における主権者教育の取組、投票環境、義務投票制等に関する調査 3. 都道府県調査（令和6年3月～4月） 47都道府県における都道府県議会議員一般選挙の投票率、選挙啓発の取組状況、投票環境等に係る調査 4. 学校調査（令和6年3月～4月） 公立・私立の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校における、議会事務局などの外部団体と連携した主権者教育の取組状況等についての調査（計1万6,343校から回答）
10	6.8.22～23	第215回全国都道府県議会事務局職員研修会（議事事務関係） 22日は各都道府県議会事務局提出課題の研究討議を、23日は以下のとおり講演を聴取するとともに、本会事務局から事務説明を行った。 <演題及び講師> 「ICTを活用した危機に強い地方議会の構築」 東北大学大学院情報科学研究科准教授 河村 和徳 氏 <事務説明> 「議会に係る手続のオンライン化に対応した標準会議規則の改正等について（条文編）」 「標準都道府県議会傍聴規則の改正に係る検討状況について」
11	6.10.7	地方自治委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第179回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
12	6 . 10 . 7	経済産業環境委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第179回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
13	6 . 10 . 7	国土交通委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第179回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
14	6 . 10 . 8	農林水産委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第179回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
15	6 . 10 . 9	社会文教委員会正副委員長県事務局長会 オンラインで開催し、第179回定例総会に提出する議案の原案等について協議した。
16	6 . 10 . 9 ～ 10	第54回議会運営等問題協議会 オンラインで開催し、議会に係る手続のオンライン化に対応した標準会議規則等の改正について協議した。
17	6 . 10 . 17	参与会 オンラインで開催し、10月24日開催の役員会の協議事項について協議した。
18	6 . 10 . 29	第216回全国都道府県議会事務局職員研修会（調査事務関係） オンラインで開催した。 なお、講演の演題及び講師等は次のとおりである。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		＜演題及び講師＞ 「政策提案型議会への変革に向けた議員提案条例の議会事務局のサポート」 関東学院大学法学部地域創生学科教授 津軽石 昭彦 氏 ＜事例発表＞ 「議員提案条例の設定支援～おんせん県おおいたアドベンチャーツーリズム条例～」 大分県議会事務局政策調査課政策法務班課長補佐（総括）仲前 賢二 氏 ＜グループ演習（条例作成について）＞ 条例立案について（課題：新たな感染症まん延に伴う課題対応に関する条例）
19	7. 1. 14	参与会 オンラインで開催し、1月20日開催の役員会の協議事項について協議した。
20	7. 2. 12	都道府県議会事務局職員広報関係研修会 オンラインで開催し、以下の講演を聴取した。 ＜演題及び講師＞ 「多様な媒体を活用した議会広報の推進」 一般社団法人自治体広報広聴研究所代表理事・広報アドバイザー 金井 茂樹 氏

(2) ブロック議長会議への出席等

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
1	令和6.4.22	東海北陸7県議会議長会議 静岡・大日本報徳社で開催された。 本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
2	6.4.26	13都道府県議会議長会議 神奈川・新横浜グレイスホテルで開催された。 本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
3	6.5.13	関東甲信越1都9県議会議長会 新潟・朱鷺メッセで開催された。 本会からは下田正幸議事調査部長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
4	6.5.13	中国五県議会正副議長会議 鳥取・ホテルモナーク鳥取で開催された。 本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
5	6.5.14	九州各県議会議長会議 熊本・熊本ホテルキャッスルで開催された。 本会からは飯山尚人次長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
6	6.5.15	北海道・東北六県議会議長会議

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		北海道・函館国際ホテルで開催された。 本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
7	6. 5. 27	四国 4 県議会正副議長会議 高知・三翠園で開催された。 本会からは飯山尚人次長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
8	6. 7. 4	徳島県議会議会運営委員会が来局 地方自治法の改正に伴う議会改革の動向について調査するため本会事務局に来局し、久保正行議事調査部副部長が説明を行った。
9	6. 7. 22	茨城県議会県有施設・県出資団体等調査特別委員会への説明 地方議会の役割等について、オンラインで下田正幸議事調査部長が説明を行った。
10	6. 7. 30	北海道・東北六県議会事務連絡協議会（議事関係） 宮城県議会で開催された。 本会からは久保正行議事調査部副部長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
11	6. 8. 1	中国五県議会正副議長会議 島根・ホテル白鳥で開催された。 本会からは飯山尚人次長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
12	6. 8. 5	近畿 2 府 8 県議会議長会議 滋賀・琵琶湖ホテルで開催された。 本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
13	6. 8. 6	九州各県議会事務局職員研修会 福岡・博多サンヒルズホテルで開催された。 本会からは下田正幸議事調査部長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
14	6. 8. 19	四国 4 県議会正副議長会議 愛媛・道後温泉ふなやで開催された。 本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
15	6. 8. 21	関東甲信越 1 都 9 県議会議長会 群馬・ホテルメトロポリタン高崎で開催された。 本会からは飯山尚人次長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
16	6. 8. 21	九州各県議会議長会議 大分・ホテル日航大分オアシスタワーで開催された。 本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
17	6. 8. 22	中国四国九県議会正副議長会議 香川・J R ホテルクレメント高松で開催された。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		本会からは下田正幸議事調査部長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
18	6. 8. 27	北海道・東北六県議会事務連絡協議会（調査・図書関係） 宮城県議会で開催された。 本会からは今関安弘調査部長心得が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
19	6. 8. 28	北海道・東北六県議会議長会議 秋田・ANAクラウンプラザホテル秋田で開催された。 本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
20	6. 8. 29	北海道・東北六県議会議員研究交流大会 秋田・ANAクラウンプラザホテル秋田で開催され、本会からは飯山尚人次長が出席した。
21	6. 10. 18	広島県議会議員研修会 広島県庁で開催された。 本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
22	6. 10. 28	大分県議会議会運営委員会が来局 地方議会を取り巻く現況や課題、最近の本会の国や経済団体等への働きかけの状況、災害時の議会対応（業務継続計画や要綱の策定）について調査するため本会事務局に来局し、下田正幸議事調査部長が説明を行った。

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
23	6 . 11 . 11	13都道府県議会議長会議 北海道・函館国際ホテルで開催された。 本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
24	6 . 12 . 5	鹿児島県議会全協的勉強会 鹿児島県議会で開催された。 本会からは飯山尚人次長が出席し、多様な人材が輝く議会の在り方について説明を行った。
25	7 . 1 . 8	13都道府県議会事務協議会 大阪・ハートンホテル北梅田で開催された。 本会からは久保正行議事調査部副部長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
26	7 . 1 . 30	東海北陸 7 県議会議長会議 三重・ホテル津センターパレスで開催された。 本会からは高原剛事務総長が出席し、地方議会を巡る最近の動向等について説明を行った。
27	7 . 1 . 30	九州各県議員交流セミナー 宮崎・宮崎観光ホテルで開催され、本会からは飯山尚人次長が出席した。
28	7 . 2 . 4	愛知県議会議会運営委員会が来局 最近の議会に係る地方自治法改正について調査するため本会事務局に来局し、下田正幸議事調査部

No.	年 月 日	会 議 の 名 称 及 び 内 容
		長が説明を行った。